

# 障害者虐待防止セルフチェックシート

## 活用マニュアル

### はじめに

この「障害者虐待防止セルフチェックシート」は、鶴見区自立支援協議会 権利擁護部会で作成をしました。

権利擁護部会は、平成25年度から活動を開始し、「意思決定支援に関する事例検討会」や「虐待防止に関する研修」「普及啓発ポスターの作成」などに取り組んできました。

令和5年度は、区内のどの事業所でも活用できる「鶴見区版のセルフチェックシート」を作ろうと、部会員で話し合いを重ねてきました。このセルフチェックシートは、スタッフの虐待防止への意識を高めることを目的として、職員が自分の支援を振り返るためのものです。

直接支援に携わる人、相談支援に携わる人用の2パターンを作成してあります。自分の業務に合わせて、活用してみてください。

鶴見区自立支援協議会 権利擁護部会

### ★ チェックシートの活用例★

#### ◆ 日々の自分の支援を振り返りながらチェックしてみよう（自己診断）

「できている」ことの確認だけでなく、「できていない」「どちらとも言えない」にチェックをつけたものについて、日々の支援を振り返り、どうしたら「できる」に変えることができるか、考えてみましょう。

#### ◆ 職場の仲間と一緒にチェックをしてみよう（テーマ別検討）

各自チェックをしたシートを職場内で集計し、どのような項目にチェックが多くついているか、全体で共有をしましょう。他の職員の支援を否定するのではなく、それぞれの気づきを大事にしながら、職場の仲間と「テーマ」にそって、話し合ってみましょう。

★職場全体で実施する場合は、事実を言えるような仕組みや環境を作ることが大切です。

★記入内容によって当該職員が不利益な処分・取り扱いを受けないことを明示する必要があります。

## ◆ 上司と一緒にチェックをしてみよう（スーパービジョン）

上司と日々の支援を点検してみましょう。自分の苦手や考え方の傾向に気づき、なぜできていないのかを上司と話し合い、支援の質を向上させていきましょう。

どうしても職場で話すことができないときは、

「権利擁護部会」に参加して、みんなで一緒に考えましょう。